



兵協連だより

HYOGO CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

2017 8



7月6日(木)兵庫県民会館において「第95回 国際協同組合デー・兵庫県記念大会」が開催されました。県内の生協・農協 (JA)・漁協 (JF)・森林組合 (JForest) の組合員や役員と職員をはじめ、388人がつどいました。また、社会学者 上野 千鶴子氏が「おひとりさまとおたがいさま」をテーマに記念講演を行いました。(関連ページ P.3)



兵庫県生活協同組合連合会
会長理事

木田 克也
(きだ・かつや)

未来づくりを組合員の手で

この度の第67回通常総会で会長理事に就任いたしました。

連合会と兵庫県の生協運動発展に向けて微力ではございますが、全力を尽くして取り組みたいと思います。

どうぞ、ご支援ご協力よろしくお願ひいたします。

「協同組合の精神を一口で言えば助け合いの組織である」と、日本の生協の生みの親である賀川豊彦は私たちの存在意義を一言で言い表されました。

そしてこのことを理念として掲げるだけでなく、これまで生協運動に携わるすべての人たちが日々の活動と購買・医療・共済などの事業を通して実践し、組合員のみなさんと一緒になって、より幸せなくらしと地域づくりをすすめてきました。

このことにより、昨年11月30日、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）が、「協同組合」を無形文化遺産に登録することを決定しました。登録決定理由は、「協同組合が、共通の利益と価値を通じてコミュニティづくりを行うことができる組織であり、雇用の創出や高齢者支援から都市の活性化や再生可能エネルギープロジェクトまで、さまざまな社会的な課題に対し、創意工夫あふれる解決策を編み出している」

としています。

また、国連でも2030年に向けた意欲的な17の取り組み課題、「持続可能な開発目標『SDGs』」を発表し、持続可能な社会の発展に寄与するパートナーとして協同組合が期待されています。

まさに、私たち協同組合が助け合うことを最も重要な価値としてすすめてきた地域社会づくりが世界的に評価されたことにほかなりません。

しかし、私たちの身近なところを目を移しますと高齢化する社会への対応や貧困・格差の拡大、次世代に引き継ぐべき環境の問題など、まだまだ社会的課題は山積しています。

生協として役割を果たす出番はこれからです。兵庫県下の生協が「協同が息づく兵庫のまちづくり」を掲げ、主役である組合員のみなさんと一緒になって、助け合い社会の未来づくりをすすめたいと思います。

あらためて、みなさまのお力添えをお願いしてご挨拶とさせていただきます。

CONTENTS

- | | |
|--|-----------------------------|
| 2. 想点 | 6. 協同組合のかけ橋 |
| 3. 「第95回 国際協同組合デー・兵庫県記念大会」報告 | 7. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓 |
| 4. 兵庫 JCC「虹の仲間づくりカレッジ」報告／「労働安全衛生研修・学習会」のご案内 | 8. 東日本被災地支援活動のご案内／県連日誌／編集後記 |
| 5. 単協通信 生活協同組合連合会大学生生活協同組合関西北陸事業連合
近畿労働兵庫兵庫地区統括本部 | |

第95回

国際協同組合デー 兵庫県記念大会を開催

7月6日(木)、兵庫県民会館 けんみんホールにおいて、「協同の力で未来を拓く」をテーマに、「第95回 国際協同組合デー 兵庫県記念大会」が開催されました。兵庫県、神戸市をはじめ多くのご来賓の皆様をはじめ、兵庫県協同組合連絡協議会(兵庫JCC)を組織する生協、農協、漁協、森林組合の主権者団体の役員と職員、組合員など、388人が参加しました。

世界の協同組合に携わる人々が、平和とよりよい生活を築くために運動の前進を誓い合う「国際協同組合デー」は、毎年7月の第1土曜日と定められており、兵庫県では、この日を受けて、毎年7月に開催しています。また同日に、第34回兵庫JCC委員会が併せて開催され、各協同組合(連合会)のトップが参加。活動報告および年度方針の確認、意見交換などを行いました。

当日は、松尾 光莉さん(兵庫県農業協同組合中央会)の司会で開幕。兵庫県、神戸市をはじめ多くのご来賓はじめ、合わせて388人が参加。会場は満席になりました。

第一部の記念式典では、主催4団体を代表して兵庫県生活協同組合連合会 木田 克也 会長理事が挨拶。続いて、兵庫県政策創生部長 山口 最丈様、神戸市市民参画推進局 参画推進部長 丹本 陽様からご祝辞をいただきました。

最後に、兵庫県漁協女性部連合会 会長 森武美さんが「協同組合は地域・社会に貢献できるかをテーマに次世代に向け、協同組合間協同の連携関係を継続させる取り組みをさらに前進させます」と、「第95回 国際協同組合デー・兵庫JCC宣言」を力強く読み上げ、満場一致で採択されました。

第二部の記念講演では、社会学者 上野千鶴子氏を迎え、「ひとりとさまとおたがいさま」をテーマに記念講演。近い将来、超高齢独居世帯が5割を超えるといわれる中、満足いく老後を送るための3条件や、弱者になっても安心できる社会づくりについて、事例をあげてわかりやすくお話しいただきました。また、各地で試行錯誤を重ねる中、協同組合の先進地域である兵庫から「神戸モデル」が生まれることを期待していただきますとエールが送られました。



挨拶する 木田 克也 兵庫県 JCC 会長
(兵庫県生協連 会長理事)



JCC 宣言を読み上げる
兵庫県漁協女性部連合会
森 武美 会長



記念講演
上野 千鶴子 氏



神戸市 丹本 陽
市民参画推進局 参画推進部長



兵庫県 山口 最丈
政策創生部長

第95回国際協同組合デー兵庫 JCC 宣言

国連が宣言した「国際協同組合年」から5年が経過しました。その間、国際情勢は、民族紛争やテロなど、世界的に調和が乱れ、自国の利益を優先する風潮が見られます。

このような中、2016年、ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)において「共通の利益の実現のために協同組合を組織するという思想と実践」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。このことは国際社会が協同組合の地域への貢献を評価したことを示すものであり、協同組合が今後さらに発展することへの期待につながっています。

兵庫 JCC は、県下の生協、農協、漁協、森林組合の4つの協同組合が連携し、平和とよりよい生活をめざす協同組合運動の、より一層の前進と協同組合間の連携を強化するため、34年前に発足しました。

今日まで、相互交流と連携強化を図るためにさまざまな活動を行い、消費者と生産者の協同組合間協同は一層強固なものとなり、お互いの事業と活動は一体化し実を結びつつあります。

私たち協同組合は、相互に助け合い、よりよい暮らしを実現するための組織です。協同組合を構成する組合員ひとりひとりが「自ら行動し、助け合うことで社会を変えていく」という理念のもと、地域社会や経済、安全安心な食料の供給、環境の保全などにおいて、果たすべき役割とは何かを改めて見つめ直し、互いに手を取り合い、持続可能な地域社会の発展のために活動を進めていかなければなりません。

本日、第95回国際協同組合デーの開催にあたり、生協、農協、漁協、森林組合など、兵庫県内の協同組合に集う私たちは、今こそ原点に還り、「協同組合は地域・社会に貢献できるか」をテーマに、次世代に向け、協同組合間協同の連携関係を継続させる取り組みをさらに前進させます。そして「協同の力で未来を拓く」をスローガンに、心をつなげて、暮らしよい兵庫と協同組合の発展をめざし、一層努力していくことをここに宣言します。



「第34回兵庫 JCC 委員会」が開催されました

兵庫 JCC =
兵庫県協同組合連絡協議会とは
【Hyogo-ken Joint Committee
of Co-operatives】

兵庫県協同組合連絡協議会(兵庫 JCC)は、兵庫県下の生協、JA(農協)、JF(漁協)、森林組合(JForest)の4協同組合の相互交流と連携強化を目的に、第62回の協同組合デーを機に設立したもので、今年で34年を迎えます。

県内協同組合の職員交流を通して協同組合間協同を実現する 兵庫JCC「虹の仲間づくりカレッジ」

2012年の国際協同組合年を契機とし、協同組合の役割を模索する動きが広がっています。県下の生協・JA・JF・森林組合の4つの協同組合から構成される兵庫県協同組合連絡協議会（兵庫JCC）では、次世代を担う職員同士が顔の見える関係をつくり、くらし、地域、社会のなかで果たすべき役割について、ともに考えるためのセミナーをコープこうべと共催で2015年度から開催しています。

3年目となる2017年度の第1回目が、7月25日(火)～26日(水)、生活協同組合コープこうべ 協同学苑にて開催され、16人が参加しました。京都生活協同組合 福永 晋介氏（生産と消費をむすぶコーディネーター）より「協同組合原則と援農隊・地産地消について考える」講演、その後、生産現場や地域が抱える課題について話し合いました。参加者は、講演や事例報告を受けて、兵庫県内の「生産」「環境」「地域コミュニティ」が抱える課題や協同組合の職員ができることを話し合い、職員ボランティア活動の実践企画について考えました。2日間を通して、協同組合について学び、交流を深めるセミナーとなりました。

【兵庫県協同組合連絡協議会＝兵庫JCC（Joint Committee of Co-operatives）】

生協、JA（農協）、JF（漁協）、Jforest（森林組合）など、兵庫県内の協同組合運動相互の連携、そして全国、海外の協同組合運動との連携をはかることを目的に1984年7月7日に設立されました。「人とひとの心がふれあう、暮らしよい兵庫をめざして～協同が息づくまちづくり～」を基本理念に活動しています。



講演
福永 晋介氏



講演や事例発表を受けて、調査・企画をすすめました。

兵庫県生協連 第8回「労働安全衛生研修・学習会」のご案内

「働き方改革」関連法案に注目が集まる中、5月初旬、厚生労働省が労働基準法違反の企業名を公表しました。労働環境のあり方と行政指導の動きについて、一緒に学びましょう。

労務・安全・健康管理に携わる役員・職員の皆さまのご参加をお待ちしています。



講師：茶園 幸子氏

「労働安全衛生研修・学習会」

- ◆日時：10月27日(金) 14時30分～16時30分
- ◆会場：兵庫県民会館 9階「901」
- ◆対象：会員生協・団体の役職員（定員36名）
- ◆講師：茶園 幸子氏（社会保険労務士・元 神戸東労働基準監督署長）
- ◆テーマ：「働き方改革」現状・問題点と行政の動き

- ◆お申し込み・お問い合わせ
兵庫県生協連 TEL. 078-391-8634



昨年の学習会の様子

生活協同組合連合会大学生協関西西北陸事業連合

大学生協関西西北陸事業連合が「ACAP消費者志向活動章」を受章

公益社団法人消費者関連専門家会議（以下、ACAP）では、2015年度から、消費者志向活動表彰制度を設け、「ACAP消費者志向活動章」として、消費者志向経営を推進、支援する活動を表彰しています。第2回となる今回は、5つの活動（4団体・事業者）が選ばれ、その一つとして、大学生協関西西北陸事業連合が受章しました。

この表彰式が、2月10日（金）に、ACAP・一般社団法人日本経済団体連合会・消費者庁の共催による、「2017 消費者志向経営トップセミナー」（於：経団連会館 250名の参加）にて執り行われました。

この度、関西西北陸事業連合が表彰された活動は、「多様な主体と連携した消費者教育の取り組み」で、「消費者市民社会の実現を目標に据え、その核となる人材を育成し、継続的に運営できる仕組みにしている点が高く評価できる。大学生の積極的な取り組みと共に、事業者と消費者の両面を併せ持った特徴を活かし、行

政・事業団体・事業者との連携を進めている点も素晴らしい」ということが評価されました。

（通信員 隅田幸博）



大学生協関西西北陸事業連合 末松泰信専務理事（前列左端）

近畿労働金庫兵庫地区統括本部

ろうきんコンサート2017 『Viva Cinema!』のご案内

（一財）兵庫労働者福祉基金協会が主催する「ろうきんコンサート」。勤労市民が良質の音楽芸術に親しむ機会を、低廉な料金で提供しています。良い音楽にふれて「暮らしに潤いを、人生に喜びを」。ぜひ多くの皆さまのご来場をお待ちしております。

（二財）兵庫労働者福祉基金協会は、兵庫労働金庫（現近畿労働金庫）が、1988年に県内の勤労者の福祉の増進をはかるために、また、勤労者の生活向上に寄与することを目的として設立した財団法人です。

「もとまちハートミュージアム2017」
ご来場ありがとうございます

障がい者アート作品「ドギドギ展」（455名）、コンサート「もとまちウキウキ」（のべ約100名）、作業所製品ハートショップ（約400名）など、多くの方に楽しんでいただきました。皆さまのご来場ありがとうございました。

もとまちハートミュージアム2017実行委員会（神戸元町商店街連合会／神戸月風堂／WAKKUN／社会福祉法人えんびつの家／NPO法人拓人こうべ／神戸ゆめ工房／NPO法人リ・フォー／片山工房／NPO法人ネットワーク長田／ちゅうおう障害者地域生活支援センター／一般財団法人兵庫勤労福祉センター／一般社団法人ひょうご部落解放・人権研究所／全労済兵庫本部／一般財団法人兵庫労働者福祉基金協会／近畿労働金庫兵庫地区統括本部）

（通信員 井奥眞貴子）

ろうきんコンサート2017

ViVa Cinema! ～愛のメロディをあなたに～

- ◆神戸会場（神戸文化ホール 中ホール）
日時：11月14日（水）19時開演（18時15分開場）
- ◆姫路会場（姫路キャサパホール）
日時：11月15日（水）19時開演（18時15分開場）
- ◆西宮会場（兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール）
日時：11月16日（木）19時開演（18時15分開場）

予定プログラム（各会場共通）

「ムーン・リバー」「エデンの東」「黄色いリボン」
「サウンド・オブ・ミュージックより」他

入場料1,000円（全席自由）

●チケットのご購入など、お問い合わせは
一般財団法人 兵庫労働者福祉基金協会
電話：078-371-5795 携帯：090-3263-5795



ドギドギ展。斬新な作品、心温まる作品に多くの方から感嘆の声が届けられました。



まちづくり会館前のワゴンセール。はばタン、かもめ大人気!

JF

兵庫県水産振興基金

平成29年度さかなのまち明石 “魅力発信” 研修

6月22日(木) 明石市の採用2年目職員を対象とした研修会が行われました。

この研修会は明石の食材を生かしたレシピを自分たちで考え調理することで、明石への理解や愛着を深めるとともに、外部に発信する力を養うことを目的に、市の人材開発課が中心となり明石市漁連の協力のもとに実施されました。

第1回目にあたる昨年の研修会では明石の漁業や地域について学び、実際に特産品である『明石鯛』の基本的なさばき方講座をSEAT-CLUBで行いました。

第2回目にあたる本年度は昨年度の経験を生かし、『明石鯛』を使った、鯛の身入りギョーザや、タコ焼きならぬ鯛焼きなどの工夫を凝らしたオリジナルレシピを考案し、プレゼンテーションした後、実際に調理を行いました。鯛のさばき方に戸惑う参加者もいましたが、考案したレシピに少しでも近づけようと真剣そのもので取り組みました。

最後に明石市漁連の橋本会長をはじめとする審査員3名の方々から最優秀賞・審査員特別賞・努力賞が送られ、クッキングアドバイザーの川越淳子氏より講評として「この経験をいかして料理を好きになり、もっと地元の魚・食材にふれてほしい」とのお言葉をいただきました。このような企画を通して若い世代が漁業や水産業をより身近に感じ、魚食文化が継承され兵庫の水産がさらに盛り上がって行く事を願っています。



受賞された皆さん



調理中の様子

JA

JA グループ兵庫

組合員とともに、さらなる成果を —JAが総会・総代会で「自己改革プログラム」を共有—

県内のJAは、6月下旬、総会・総代会*を開催しました。協同組合であるJA(農業協同組合)は、総会・総代会が最高意思決定機関です。組合員は一人一票の議決権、選挙権をもち、前年度の事業報告と剰余金処分(決算)、当年度の事業計画(予算)をはじめ、JA運営に関する重要事項を審議、決定するため、毎年度、総会・総代会を開催しています。また、役員の改選期を迎えたJAでは理事、監事の選任を行います。

今、JAグループでは、JA全国大会・兵庫県JA大会決議に基づき、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標とした「自己改革」に取り組んでいます。平成28年度から取り組んだ内容を組合員、役職員がしっかり共有し、より一層、成果をあげていくため、JAの総会・総代会で「自己改革プログラム」が報告されました。

「自己改革プログラム」には、基本目標の達成に向けたJAの取り組み方針をはじめ、とくに農業者の所得増大と農業生産の拡大を実現するための具体的な施策とその実践状況を記載しています。農業は、地域によって多様な取り組みが行われているため、自己改革プログラムにも、JAの創意工夫が表れています。29年度も、組合員の意見、要望を反映して、必要な見直しを行い、さらなる成果があがるように取り組むことにしています。

*500人以上の正組合員を有するJAは、正組合員の中から選ばれた総代による総代会を設置することができます。



自己改革プログラムを共有したJAの総代会
(写真提供=JAみのり)



平成28年度兵庫県内の多重債務相談窓口における相談受付状況と傾向

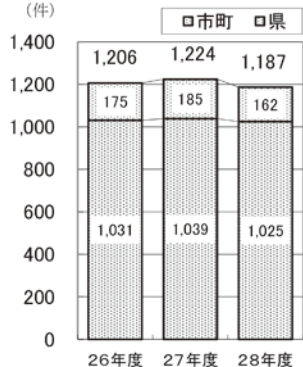
平成28年度、県・市町の消費生活相談窓口には1,187件、1か月あたり100件程度の多重債務相談が寄せられました。平成27年度に比べると減少しているものの（1,224件→1,187件）、近年大幅な増減はなく、ほぼ横ばいで推移しています。

年齢別の相談数は、「60歳以上」の割合が高まっています（35.9%→41.0%）。

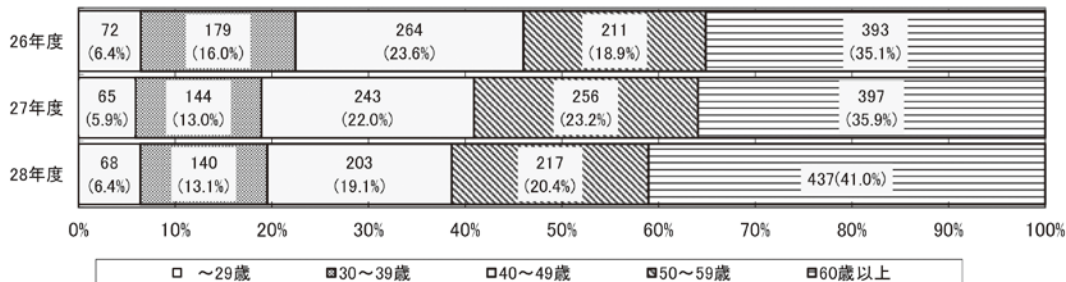
また、相談内容では、生活費等を補うため、借入れを繰り返すうちに債務額が増大し、返済が困難になったケースなどがみられました。

借金の返済でお悩みの方は、県・市町の消費生活センターや県弁護士会、司法書士会、法テラスなど法律専門家の窓口にもまずご相談ください。

多重債務相談（県・市町別）



多重債務相談（年齢別） ※不明を除く



多重債務法律相談窓口

兵庫県弁護士会 神戸相談所
078-341-1717
(月～金曜 9時半～12時、13時～16時)

兵庫県司法書士会
078-341-2755
(月～金曜 9時～17時)

法テラス（コールセンター）
0570-078374
(月～金曜 9時～21時、土曜 9時～17時)

(兵庫県生活科学総合センター)

適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

ヨッシーの窓

みなさま、こんにちは。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江です。

暑い、暑い、夏がやってきましたね。朝も早くから、蝉がやかましく鳴き叫び続け、気温が押し上げられているような気がします。

6月17日の通常総会等を経て、ひょうご消費者ネットの理事長が代わりました。新理事長に鈴木尉久弁護士が就任しました。みなさま、株式会社ベルカディアに対する差止請求訴訟を覚えておられるでしょうか？鈴木弁護士は、この差止請求訴訟の中心人物でもあります。少し思い出しておきましょう。「モンベル・アウトドア・チャレンジ(M.O.C.)」の名称で登山ツアーなどを企画運営するベルカディアは、そのツアーに参加する際、「同意書」に署名捺印を求めています。ベルカディアは、同意書に署名しないとツアーに参加できないとか、同意書に署名することは、任意ではなく、しなければならないといった虚偽の説明を行っており、ひょうご消費者ネットはこれを止めるよう求めてきました。また、同意書に記載された免責条項は、不当な条項なので使用を止めるよう求めてきました。この件は、現在も、裁判を行っています。

このような紹介だけだと、とても、気難しい印象になってしまうかもしれません。でも、実際は、ほんわかした一面がある弁護士さんで、シンボでは、クイズの名解説者としても活躍しました。

新理事長の紹介をしていたら、字数がきてしまいました。それでは、また、来月号でお会いしましょう。

(ひょうご消費者ネット 理事 司法書士 吉江直記)

連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C
TEL: 078-361-7201 E-mail: office@hyogo-c-net.com



MOVE

2017年度東日本被災地支援活動のご案内

2013年度から宮城県山元町への支援活動を開始し、今年で5年目を迎えます。

2017年度も引き続き、一般社団法人INGと連携して、「被災と復興の教訓を学び、予想される大災害に備え、活かしていく」という目的を継承すると同時に、東日本大地震の“被災地を忘れず、被災地に寄り添う”ために、東日本地震被災地支援活動をすすめてまいります。

会員生協の役員・職員の皆様のご参加のほど、宜しくお願い申し上げます。

2017年度支援活動日程について

	日程	活動内容(予定)
第1回	10月13日(金)~14日(土) 山元町「花釜まつり」 応援ボランティア	●1日目:伊丹空港(19時集合) 仙台空港(21時頃到着)⇒センターへ ●2日目:山元町「花釜まつり」応援ボランティア 仙台空港(19時頃出発) 伊丹空港(21時頃着)~解散
第2回	3月9日(金)~11日(日) 震災7年の現地をまわります	●1日目:伊丹空港(19時集合) 仙台空港(21時頃到着)⇒センターへ ●2日目:被災地見学(福島県:富岡町近辺) ●3日目:被災地見学(石巻・女川) 仙台空港(17時30分頃出発) 伊丹空港(19時15分頃着)~解散

募集人数

第1回・第2回共に

購買生協1名、大学生協1名、医療生協1名、共済生協1名 計4名

*応募多数の場合は事務局にて分野別生協ごとに抽選で調整させていただきます。

お申込み・お問い合わせは

兵庫県生活協同組合連合会事務局 までお願いいたします。

TEL:(078)391-8634 E-mail:hyogo@kobe.coop.or.jp

編集後記

6月の総会を終え、7月は、国際協同組合デー(P3.参照)、兵庫JCC「虹の仲間づくりカレッジ」(P4.参照)に加え、委員会・研究会・部会が目白押し。今日は何日?何の会議?混乱の日々でしたがようやく一段落、それぞれの2017年度活動計画が決まりました。兵庫県生協連の活動にご支援いただきありがとうございます。色々な方にお会いする機会がありますが、出会う機会をいただいていたこと、本当に幸せなことだと毎

回感じています。
(大戸)



県連日誌

8月7日(月)

兵協連 第2回理事会・
第16回兵庫県企画県民部と
兵協連理事会との懇談会

(県民会館 1201)

8月19日(土)

兵協連 ビースアクション2017
「広島被爆ピアノ平和コンサート」
(コープこうべ 生活文化センター)